



# 川名ひろあき県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

## かずさアカデミアパーク

# 企業立地の遅れを厳しく指摘!

君津市特集 12月県議会一般質問

昨年4月の県議選で、地域の信任を得て無投票で5期目の当選を果たした川名寛章(かわな・ひろあき)県議は、ベテラン議員ながら12月定例県議会一般質問に登壇し、地域の活性化に向けて森田知事ら県執行部の考えをたずねました。この中で、川名県議は、かずさアカデミアパークへの企業立地が思ったように進まない現状に対し、県が事業を取り巻く環境変化に適切に対応してこなかったことが原因だと厳しく指摘しました。川名県議は、反省すべき点は反省し、企業が立地しやすい環境を整えるよう、強く求めました。その他の主な質疑と合わせ、川名県議の議会活動を特集しました。



本会議場の壇上に立つ川名寛章県議

# 立地しやすい環境整備を要望 知事、アクセスの優位性強調

川名議員 かずさアカデミアパークの従業者数は、千6百人を超え、私は一定の評価をしているところで。しかしながら、構想策定から27年が経過した現在でも、民間企業用地の44%が未だに立地が決まらず、地域振興への効果を十分果たしているとは、到底言えない状況にあります。

かずさアカデミアパークへの企業立地が遅れた背景には、県がこれまで、事業を取り巻く環境の変化を踏まえた改善策を講じてこなかったことにも原因があると指摘せざるを得ません。ぜひとも、反省すべき点は反省し、改めるべきところは改めて、企業が立地しやすい環境を整えることを望みます。

県は今こそ、本来果たすべき役割をしっかりと認識し、これまでの投資が地域の発展に結びつくよう、本腰を入れて取り組んでいたいただきたいというところが、我々地元県議団の強い願いであります。

そこで伺います。かずさアカデミアパークへの企業立地が進まない現状について、

その原因を、県としてどのように考えているのか。

森田知事 かずさアカデミアは、現在までに民間企業15社の立地が決定し、うち13社が操業していますが、民間企業用地149ヘクタールが約4割は未だに立地が決まっていない状況です。その原因としては、造成着工直後の経済状況の激変と、その後の長期的な景気の低迷で、企業の投資意欲

皆様には、平成24年の輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年、3月11日の東日本大震災により、私たち日本人の誰にとっても「特別な年」でした。巨大地震と大津波に見舞われ、多くの尊い命が失われ、家族や財産を失った被災者の皆様には、衷心よりお悔やみを申し上げます。1日も早い復旧・復興を願わずにはいられません。

さて、私たちの社会のあり方をあらためて見ると、多くの課題が山積し

が大きく落ち込んだこと、研究所を主体とするパークのコンセプトが企業ニーズに合わなくなったことなどが、影響していると認識しています。

川名議員 地域発展のため、企業誘致を積極的に進めるべきと思うが、県はどのように取り組んでいくのか。

森田知事 かずさアカデミアは、都心からのアクセスが良く、特にアクアライの料金引き下げや圏央道整備の進展により、格段に立地の優位性が高まっていること、地盤が安定し、先の大震災でもほとんど影響がなかったことなどが、立地企業にも高く評価されています。

今後、私自身が本県の魅力についてPRを行う企業誘致セミナーなど、あらゆる機会をとらえて、周知していきたいと考えています。

私は、こうした時代にこそ、私たち自らの生き方も見つめ直すべきではないかと思えます。戦後のあの荒廃から立ち直った日本人のように、誰かに依存することなく、自主独立の精神に立脚

「いあござり」

千葉県政においても、東日本大震災に伴う福島県原発事故、放射能汚染と風評被害など、経験したことのない厳しい現実が直面しています。こうした中、行財政のスクラップ&ビルドと規制緩和が求められています。私は、これらの政策を実現させ、地域の活性化に努めてまいります。

千葉県議会議員 川名寛章

## 県政に全力投球!

●県政や君津市のご相談、ご意見を聞かせてください  
**川名ひろあき** 県議事務所  
〒299-1152 君津市久保3-11-4 TEL.0439-57-0105

# 圏央道、24年度開通の実現を!

## 地域の道路は「命をつなぐ道」



議場最後列の自席からメモを手にも再質問する川名県議

### 国道410号

川名議員 アクアラインや圏央道の効果を、南房総に広く波及させ、観光などの経済活動を活性化させるためには、道路の担う役割は大きなものがあります。ひとたび災害が起これば、道路は「命をつなぐ道」でもありません。

しかしながら、君津市内の道路事情を言えば、残念ながら、未だに観光バスですれ違いのままならない狭隘で脆弱な部分が多く残っているのが現状です。地域

としては一層の道路網整備を願うところです。国道410号久留里馬来田バイパスの整備状況と今後の見通しはどうか。

県土整備部長 本バイパスは、館山道や圏央道から南房総地域へのアクセス強化を図るため、君津市広岡地先から袖ヶ浦市高谷地先までの16・4キロのバイパス整備を進めており、これまでに8・6キロの供用を図ってきたところです。

現在、残る区間のうち、久留里地先の3・2キロについて、優先的に整備を進めているところで、平成23年度は2級河川御腹川を渡

### 国道465号

川名議員 国道465号黄和田畑拡幅の整備状況と今後の見通しはどうか。

県土整備部長 本拡幅工事は、現道の屈曲や幅員狭小区間の解消を図るため、君津市黄和田畑地先から蔵玉地先に至る延長2・1キロの道路事業であり、このうち県道市原天津小湊線と接続する1・1キロを優先整備区間として事業を進めています。

現在、特に幅員が狭小である現道拡幅部0・5キロで、平成24年度の供用を目指して、擁壁工事などの道路改良を重点的に行っているところです。

### 市原天津小湊線

川名議員 平成33年には千葉県が生んだ偉人、日蓮聖人の生誕800年祭が、県道市原天津小湊線沿いにある清澄寺で行われると聞いています。地元としては、この生誕祭を成功させるためにも、ぜひ本路線の早期

整備を願うところです。同県道の君津市黄和田畑地先から以南の整備状況と今後の見通しはどうか。

県土整備部長 本区間は、現道の幅員狭小及び線形不良個所の解消や観光振興を図るため、順次、改良工事を実施し、これまでに延長13・5キロのうち、7

### 圏央道促進で要望書

千葉県議会の与野党議員37名で構成する県議会圏央道推進議員連盟の会長を務める川名議員は、昨年11月29日、同僚議員らと国土交通省を訪れ、圏央道の建設促進を求める要望書を手渡しました。

要望書の具体的な内容は、①圏央道の千葉区間について、平成24年度の開通目標に基づいた事業推進を図ること②開通目標が唯一宣言されている大栄・横芝間については、早期に開通目標を設定し1日も早い完成を図る

・8キロの整備が完了しています。現在、黄和田畑地先から鴨川市四万木、坂本地先で現道拡幅工事を実施しており、平成23年度は四万木地先0・2キロの供用を予定しています。



国土省で圏央道の要望書を手渡す川名県議

### がん対策で要望

#### 身近で質の高い治療を!

川名議員 次に医療問題として、がん対策を伺います。千葉県でも、がんは昭和57年から死因の第1位となり、毎年約1万5千人以上の方ががんで亡くなっています。

今後、県民が身近な地域で、質の高いがん治療が受けられるよう、どのように取り組んでいくのか。

保健医療担当部長 本県のがん医療は、胃がん、肺がんなどいわゆる5大がんすべてにわたり、一定水準の診療を行う病院として、厚生労働大臣が指定する14カ所の「がん診療連携拠点病院」を中心に、地域のかかりつけ医等が連携しながら

このようながん診療体制の強化を図りながら、がん診療の水準向上と、県民が身近な地域で、質の高いがん治療を受けられるよう、本県のがん対策の充実に努めてまいります。

### 小糸川の河川改修

川名議員 小糸川河川改修事業の進捗状況と今後の見通しはどうか。

県土整備部長 河口から松川橋までの下流部は、昭和45年の災害を受け、災害復旧助成事業により改修を行ってきました。松川橋から東前橋までの中流部6・1キロ区間は、平成21年度から改修事業に着手し、これまでに測量設計のほか、狭窄部を優先して河道掘削工事を実施しており、平成23年度は用地買収を行って

ご理解とご協力を得ながら、用地買収や河道掘削工事を進め、事業効果の早期発現に向け、工事の進捗を図ってまいります。

#### お知らせ

川名議員の12月県議会一般質問は、千葉県議会のホームページから「インターネット中継(録画)」で、すべての質疑をご覧いただけます。